



# WE21ジャパンこうほく ニュース

特定非営利活動法人WE21ジャパンこうほくは リユースリサイクルのお店「WEショップこうほく」をボランティアで運営し、その収益でアジアの女性たちが自立して暮らしていけるよう民際支援活動をしています。 2014年3月

発行 NPO法人WE21ジャパンこうほく 港北区大豆戸町60-1 TEL/FAX 045-547-6241

NO.109

<http://we21kk.org>

WE21ジャパンこうほく

検索

## 今年も JIM-NETのチョコ募金に取り組みました。 1/27-2/15

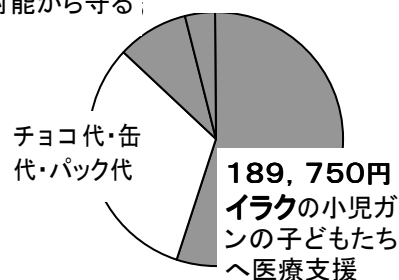
ご協力下さいました一人一人のおもいを  
イラクに、シリアに、福島に届けます。

**ありがとうございました。**

協力団体 新横浜のレストランWe・オルタ館・スペースオルタ、  
日吉本町のカフェ杜・子どもの本のみせともだち

31,050円  
福島の子もたち  
を放射能から守る

13,800円  
イラクに逃れてきた  
シリア難民の妊婦や  
子どもを守る活動



### JIM-NETチョコ募金報告会 1月27日 日吉店にて

イラクから帰国されたばかりのJIM-NET事務局長佐藤真紀さんの報告は現地の動画も含め臨場感がありました

今年で9回目のチョコ募金。多くの人の賛同と関わりでイラクの小児ガンの子もたちの治癒率が70%近くまで上がってきました。しかしシリアの内戦の影響で、治安の悪化と共にまた少し下がってきているとの報告がありとても残念でした。

そのシリア難民の妊婦さんと赤ちゃんにもこの募金は使われます。

福島からは除染宣言はされたものの以前の生活に戻れない町民が不安と苦悩の中で、放射能の排出をよくする料理教室で学んでいる様子が紹介されました。石巻では津波で家族を亡くされた漁師さんが、使い切れなかった支援の衣類をシリアの難民に送ることを提案して、福島大学の先生、学生がヨルダンまで届けたそうです。

困難の中で生きていることの現実。困難な中で、できることをしていく強さ、そしてそれを支える人の力。

治療を終え、元気になり父親に甘えるイラクの少女、厳しい治療の合間チョコを食べる子の笑顔、難民キャンプで生まれたばかりの赤ちゃん。

「生まれたのだから生きてほしい」という佐藤さんの言葉と共に「チョコ缶にはおいしいチョコだけでなく人の力強さ、勇気、優しさ、希望が詰まっている。」と感じた報告会でした

**私たちの募金345,000円は・・**



報告するJIMNET 佐藤真紀事務局長

報告会の当日、シリアに向けて和平会議が開かれたとのニュースが流れました。一日も早く平和が訪れますように。

「あしたのチョコレート」「哲学のあるチョコレート」「いのちをつなぐチョコレート」など呼び方もいろいろありますが、今年も多くの方に賛同いただき345,000円の募金を届けることができました。

ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

### 12月 県指定NPO法人に指定を受けました

2013年7月に申請した「県指定特定非営利活動法人(県指定NPO法人)」について、12月かながわ県議会で審議され5年間の指定を受けることが決まりました。

指定を受けるにあたって会計・事業・組織の運営を一つ一つ点検する機会になりましたし、指定を受けたことで、市民からの支持を得ている団体であること、会計面・事業面・組織面で一定のレベルに達しているというお墨付きをいただいたと思っています。

引き続き、認定NPO法人の申請をすすめます。

皆様のご支援・ご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

インド

## 今年も「モニタリングツアー」に行ってきました。

2月4日～13日

ショップを始めて4年目、支援に回せる金額がすこしずつ増えてきたので、こうほくらしい支援をしようと始めたのが、2005年新規に始まったインド・西ベンガル州の少数民族サンタル族の女性の自立支援でした。

現地NGOのDRCSと一緒により多目的教育センター(MPEC)を作り、保育園活動、家庭菜園、入手可能な資源でつくる生産トレーニングを行い、女性たちの自立につなげていきました。



プルリアの店の前。私たちが行くと村人が集まってきました。



有機野菜作りについて熱心に話し合う村人たち

5年間のプロジェクトが終わり、そのオーガニックな生産物の販売拠点を作るプロジェクトを3年計画で作りました。今年はその最終年度です。

3年の支援の結果、2つの店と、ボルプールとコルカタのサブ拠点4箇所が稼働しました。なかでもプルリアの店はDRCSのがっちりサポートのもと、ショップ運営が起動に乗りました。その秘訣はたくさんのお農家の存在です。自分たちの身近に、消費者キャンペーンや有機農業を教えてくれる店があるのです。オーガニックの良さに目覚めた村人たちは自分たちで生産者グループを作り、生産物を店に卸し、店で必要なオーガニック製品を買います。

オーガニックの循環に明るい未来を感じました。(岡田真帆)

### 3月の ショップ情報

#### ★ 日吉店 ミニ着物市

3月4日(火)～7日(火)

- \*リメイク作品も展示いたします。
- \*陶器のお買得コーナーも!



チョコ募金の缶を利用してつくったミニお雛様。

#### ★ 大倉山店・日吉店「3.11を忘れない」東日本大震災・福島原発事故から3年。 3月11日の売上全額を 寄付します。

寄付先：JIM-NET(日本イラク医療支援ネットワーク)

#### 内容：福島の子どもたちを放射能から守る活動

子どもを連れて福島を出た人、残らざるを得ないお母さん、福島を出たお母さんや子どもたちの支援もしながら、残らざるを得なかった子どもたちに少しでも健康被害が起きないように放射能の見える化や保養、健診の充実を訴えていき、また、昨年度から取り組んでいた「市民放射能測定所ダイレクトリ」が完成しました。多くの人に被曝の低減や放射能汚染の実態を知る足がかりになってもらいたいと活動しています。

#### 通常総会のご案内

2014年5月22日(木)

13時～

港北公会堂 2F会議室